美祢市民大学講座

テレビでもおなじみ！
白鷗大学教授　立命館大学客員教授
福岡 政行 氏を迎えて

演題 **どうなる？地方の明日と私たちの生活**
～市民と行政の「協働」による元気なまちづくり～

プロフィール

1945年　東京都葛飾区生まれ
1968年　早稲田大学政治経済学部卒業
1973年　早稲田大学政治学研究科博士課程修了
1980年　駒澤大学法学部　助教授
1992年　白鷗大学法学部　教授（政治学）
2002年　立命館大学　客員教授

最近の著書
まちづくりのサバイバル術　学陽書房（H16.4）
政権選択～大連立か政権交代か～　角川学芸出版（H20.12）
変わる！政治のしくみ　ＰＨＰ研究所（H22.3）

「机上の研究よりもフィールドワークを重視し、何事にも現場を観察することが肝心」というのがモットー。全国各地から得た生の情報のもとに、実証的政治学を研究。
ボランティア活動にも積極的に関わり、阪神淡路大震災、三宅島の噴火やカンボジアの子どもたちへの支援活動にゼミ学生と共に取り組む。現在「アシスト（ジャパン）の会」事務局長。

日　時　**3月16日水**
18時30分～20時（開場17時30分）
会　場　美祢来福センター
美祢市大嶺町東分来福台4丁目16番
受講料　〔前売券〕**500円**
〔当日券〕**600円**
（小・中・高生は**無料**）
前売券販売期間　2月15日火～3月15日火

販売所
市役所市民室　教育委員会事務局　教育委員会事務局秋芳事務所・美東事務所　各公民館
来福センター　勤労青少年ホーム　スポーツセンター　温水プール　美祢市立病院食堂
道の駅おふく　朝日館　谷ストアー　コンドー文具　ローソン美祢市役所前店
Ｙショップ湯ノ口店　サィサィみとう　ポプラ秋吉店

主催　美祢市教育委員会　**共催**　美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会・美祢市文化団体連絡協議会
問合せ先　社会教育課〔☎0837(52)5261〕　教育委員会事務局秋芳事務所〔☎0837(62)1922〕
教育委員会事務局美東事務所〔☎08396(2)5555〕

アラ還フェスティバル PART Ⅱ
～元気出せ、僕らの美祢線～
同時開催　美祢線の絵画・写真展

「アラ還」ってご存知ですか？
造語ですが、もうすぐ還暦又は還暦を過ぎた方々を称します。
演奏する人も聴く人もアラ還中心のコンサートです。
今回は、コンサートを通して厚狭地区水害の復興と再開の灯りが見えてきた思い出多き美祢線にエールを送ります。
青春時代の懐かしい曲満載です。

日　時　3月12日土
14時～17時30分
（開場13時30分）
場　所　山陽小野田市文化会館大ホール（ＪＲ厚狭駅新幹線口前）
出演者　県内活動グループ多数出演
ゲスト　メンキンメモリアルバンド（公認全国寺内タケシ講演会長バンド）
入場料　５００円（チケット販売所：山陽小野田市文化会館・市民館、山陽小野田市協働推進課）
問合せ先　山陽小野田市文化会館〔☎０８３６（７１）１０００〕

秋吉台国際芸術村　3月イベント情報

3月12日(土)

「耳ラボ ～みて、さわって、ひいてみよう！アジアの楽器たち～」

○「だれでもひける！口琴ワークショップ」

講師　コウサカワタル（沖縄出身、三線／サロード）
時間　13時～14時30分
対象　未就学児～一般（未就学児のご参加は保護者同伴必須）
料金　300円（口琴＆本格派チャイつき！）
申込　秋吉台国際芸術村までご連絡ください。

○耳ラボ　コンサート「琉球インド！」

沖縄出身のコウサカワタルさんが、アジアの色んな楽器を独自の方法で演奏します！

演奏楽器　三線（沖縄）、サロード（インド）、ダンバウ（ベトナム）
時間　15時～16時
料金　無料

3月26日(土)

小椋佳「歌紡ぎの会」

時間　18時～19時30分
料金　全席自由席　3,000円
高校生以下　1,500円
（フレンズネット割引あり）
会場　秋吉台国際芸術村ホール
問合せ先　秋吉台国際芸術村までご連絡ください。

※車イス貸出有（前日までに要申込）
※託児サービス有（3月19日㈯締切）
※当日コンサートをお手伝いいただくボランティアを募集しています！詳細は秋吉台国際芸術村までご連絡ください。（3月19日㈯締切）

問合せ先
秋吉台国際芸術村
☎0837(63)0020　FAX0837(63)0021
〒754－0511　山口県美祢市秋芳町秋吉50
E-mail：info@aiav.jp
URL：http://www.aiav.jp

俳句と短歌

【美祢つぼみ句会】

暮れの鐘　とどく余寒の　山家かな　藤本　寿和
旅装解く　独りの部屋の　余寒かな　上利美代子

【美祢あさぎり句会】

悴む手　包む我が子の　大きな手　林　政子
黄水仙　絶やさず咲かせ　今日も無事　高山　菱湖

【美東俳句会】

冬耕や　畝の形も　愚直なり　河崎　敏昭
黒豆に　一生のまめを　祈りけり　友永さだ子

【秋芳野火句会】

文字うすれ　亡夫の残せし　菊名札　阿野　泰子
農継ぐと　決めて神楽の　舞を舞ふ　上利　邦子

【ホトトギス秋芳句会】

出かけるに　お洒落の一つ　冬帽子　上利　活枝
凧あげに　風の呼吸を　計りをり　小嶋かつら

【美祢短歌会】

針の先ほどの花芽の枝々に露を宿せる
庭の紅梅　茶川　貞代

元旦のいつもとちがう光浴びじっと目を閉じ
しばしたたずむ　長町　保枝

一人住む君より届いた年賀手に訃報の知らせ
受け入れがたし　内田シヅエ

【秋芳短歌会】

貧乏サンタのプレゼント飴とて配られし
聖夜の塾に教師の温み　井上　栄

彫り深き顔ぞと言へりわれの眼を切りたる
医師が呟くごとく　松原　正男

風呂焚くと四人の孫は集まりて慣れぬ
手つきで小枝投げ込む　前田　時博